

## 16.3期 決算説明会資料

2016年5月決算説明会  
レシップホールディングス株式会社

16年3月期実績

# 16年3月期実績 まとめ

■売上 ・輸送機器、産業機器ともに、今期は大型案件がなかったことにより減収

- 利益
- ① 国内の大型案件の剥落による影響
  - ② 北米での一部解約、及び開発費の追加投入
  - ③ “のれん”の減損

【単位:百万円】	15/3期	16/3期	前期比		【単位:百万円】	15/3期	16/3期	前期比	
			増減額	率				増減額	率
売上高	20,215	16,203	-4,012	-19.8%	輸送機器	12,416	11,424	-992	-8.0%
売上原価	15,975	13,120	-2,855	-17.9%	- バス	9,760	8,964	-796	-8.2%
売上総利益	4,239	3,082	-1,157	-27.3%	- 鉄道	1,829	1,585	-244	-13.3%
販売管理費	3,635	3,654	+19	+0.5%	-自動車	826	874	+48	+5.8%
営業利益	603	-571	-1,174	-	産業機器	7,754	4,734	-3,020	-39.0%
経常利益	779	-649	-1,429	-	- エコ・高電圧	791	834	+43	+5.4%
税引き前利益	739	-1,272	-2,012	-	-電源	5,495	2,293	-3,202	-58.3%
当期純利益	227	-1,378	-1,605	-	- EMS	1,467	1,606	+139	+9.5%
一株当たり利益	20.76	-125.25	-146.01	-	その他	44	44	+0	-0.6%
為替レート (US\$)	110.62	120.16	+9.54	+8.6%	合計	20,215	16,203	-4,012	-19.8%

# 売上高・経常利益の推移

売上高

営業利益

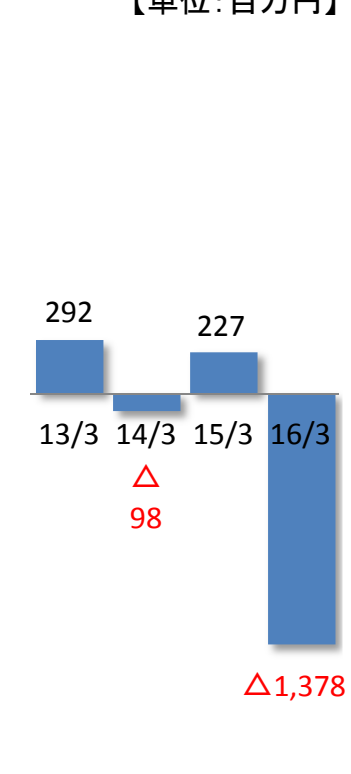
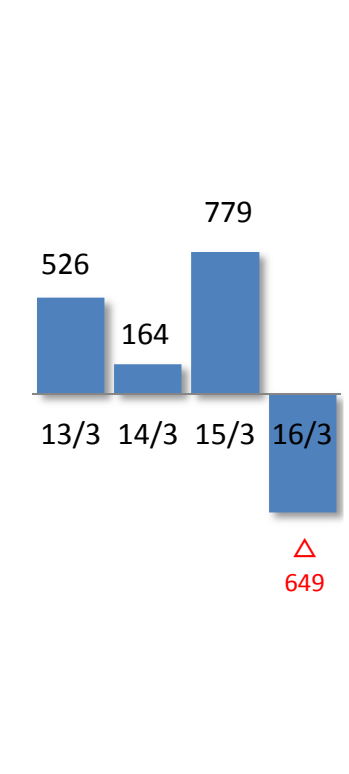
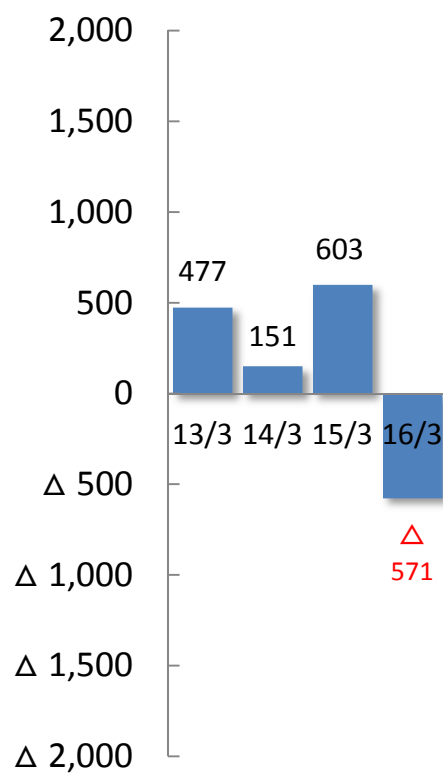
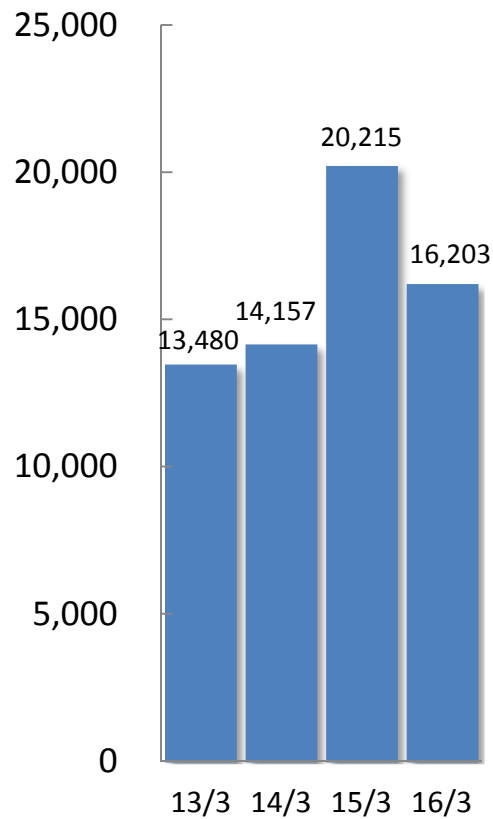
経常利益

当期純利益

5期ぶりの減収

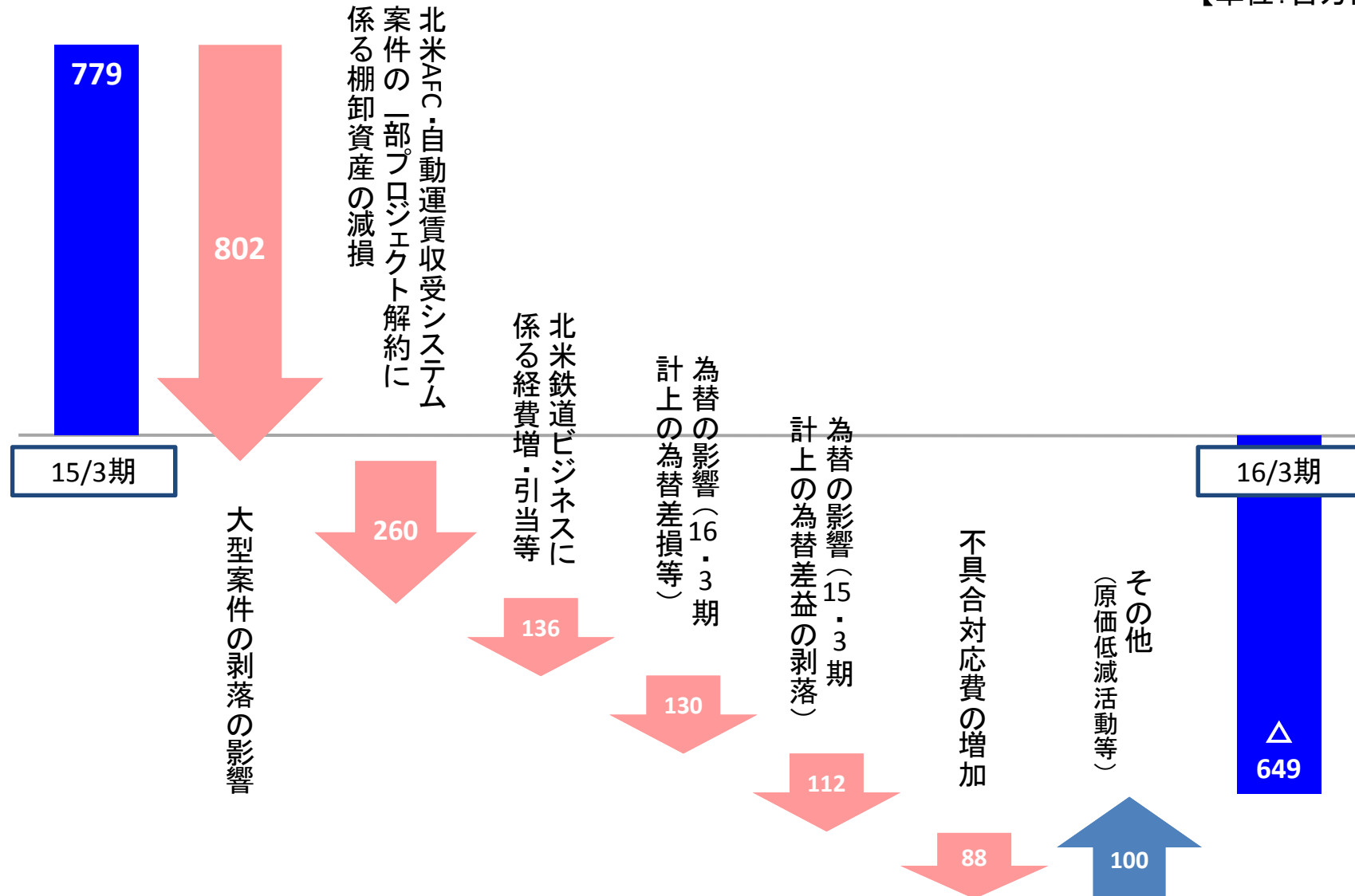
2期ぶりの減益

【単位：百万円】



# 経常利益の増減分析

【単位：百万円】



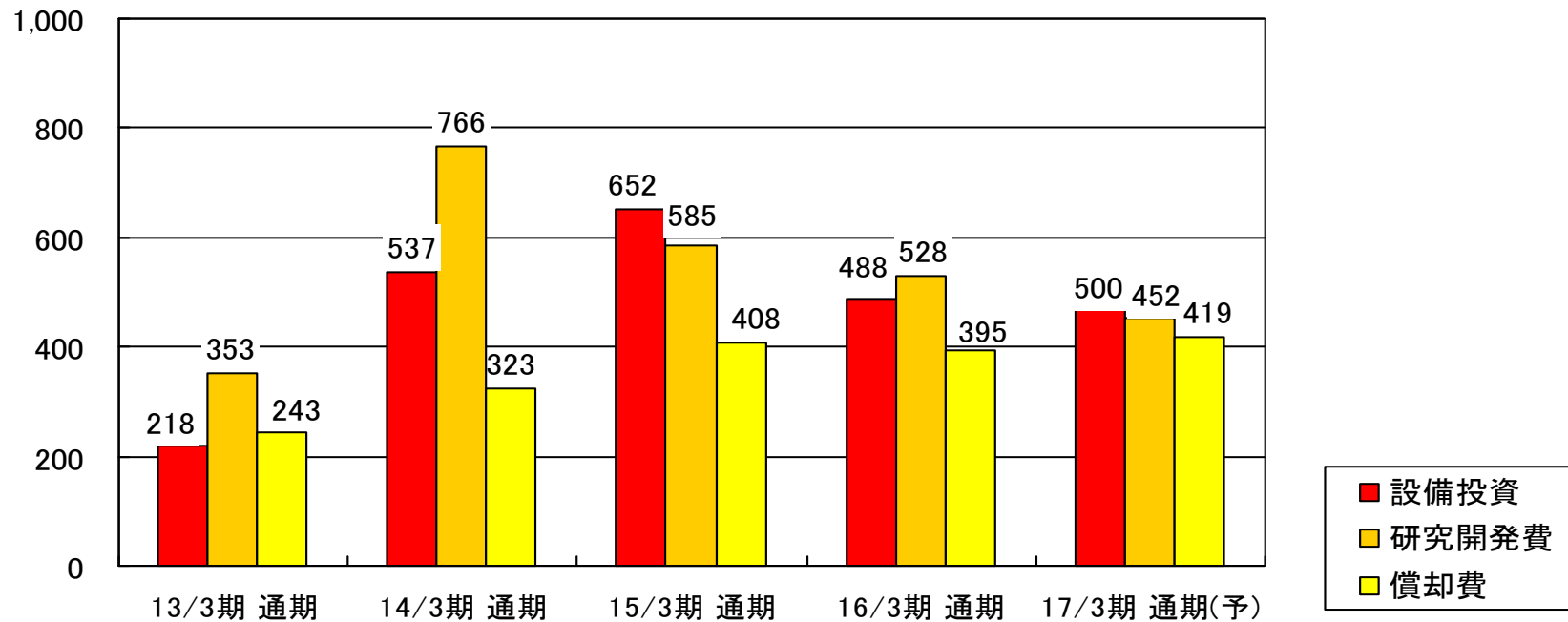
## 研究開発費、設備投資、償却費の推移

16/3期

■研究開発費 北米向けAFC、カラーLED式行先表示器、鉄道向け灯具、等

■設備投資 北米向けAFCのソフトウェア、バス・鉄道・自動車向け灯具の金型、社内インフラ設備、等

(単位:百万円)



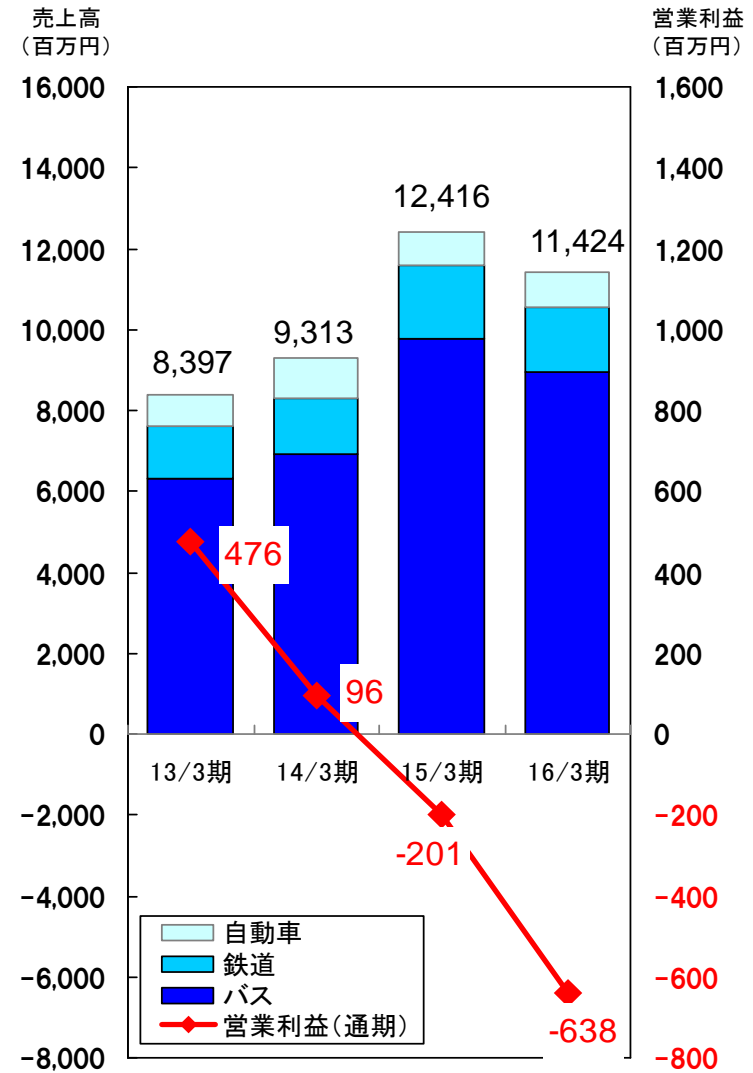
# セグメント別業績 輸送機器事業

【単位：百万円】

		15/3期	16/3期	増減	%
売上高	バス	9,760	8,964	-796	-8.2
	鉄道	1,829	1,585	-244	-13.3
	自動車	826	874	+48	+5.8
	合計	12,416	11,424	-992	-8.0
営業利益	合計	-201	-638	-437	-

## 【売上増減要因】

- ・バス(国内)は、原油価格の下落による交通事業者の投資マインドが回復傾向にあるものの、ICカードシステムの大型案件がなかったことから減収
- ・鉄道(国内)は、LED灯具の販売は堅調も、前期に計上したICカードシステムの剥落により減収
- ・自動車国内(国内)は、消費税増の反動減からの回復
- ・北米AFCは、一部解約とあわせ、ワシントン州案件の納入が17.3期に期ズレしたため減収
- ・シンガポール向けTMSは、機器納入から保守対応フェーズへの移行に伴い減収



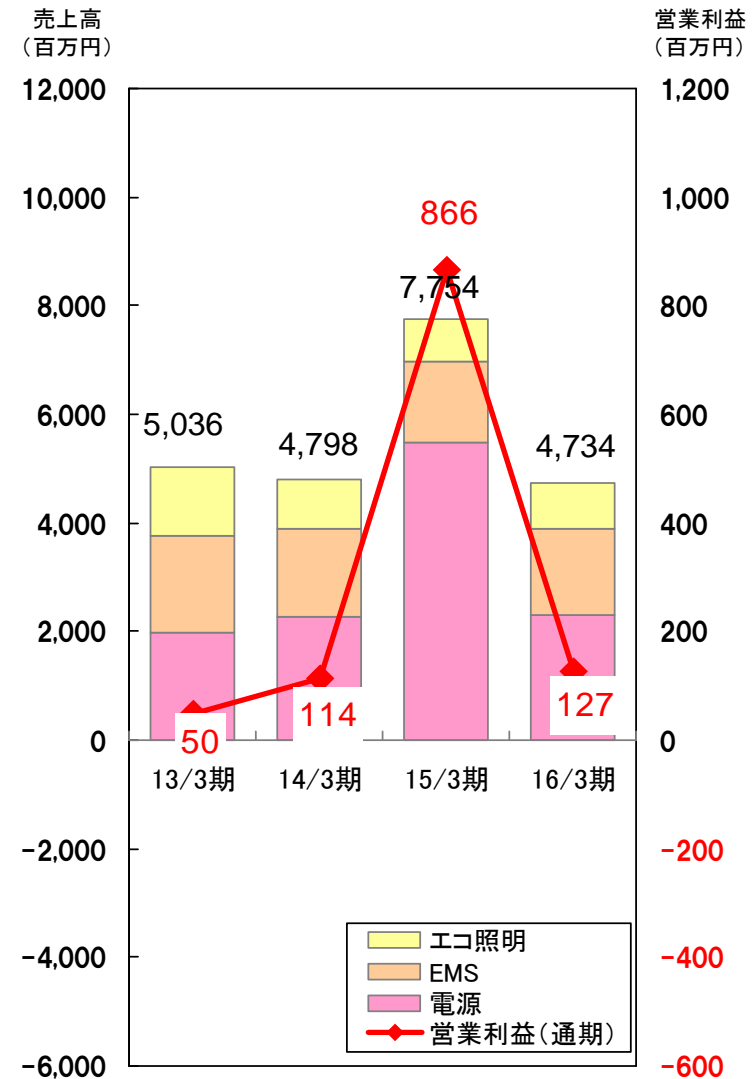
# セグメント別業績 産業機器事業

【単位：百万円】

		15/3期	16/3期	増減	%
売上高	電源	5,495	2,293	-3,202	-58.3
	EMS	1,467	1,606	+139	+9.5
	エコ照明	791	834	+43	+5.4
	合計	7,754	4,734	-3,020	-39.0
営業利益	合計	866	127	-739	-85.3

## 【売上増減要因】

- ・電源は、通信基地局向け無停電電源装置が、16.3期はボリューム減のため大幅減収
- ・EMSは、各種電子機器向け基板が、消費税増税からの反動減の回復
- ・エコ照明・高電圧は、LED電源、特殊用途向け変圧器ともに堅調に推移





## (参考)貸借対照表

(単位:百万円)		15/3末	16/3末	差異	
資産の部	現金及び預金	667	848	181	
	受取手形及び売掛金	6,472	5,149	-1,322	← 売上債権の早期回収に伴う減少
	棚卸資産	2,894	3,093	199	
	その他	1,134	1,407	272	
	流動資産 計	11,168	10,499	-669	
	有形固定資産	1,419	1,415	-3	
	無形固定資産	1,256	647	-609	
	投資その他の資産	586	611	24	
	固定資産 計	3,262	2,674	-588	
	資産の部	14,431	13,173	-1,257	← 「でんさい」導入による科目変更分918百万円が「その他」へ
負債の部	支払手形及び買掛金	3,155	2,173	-982	← 「でんさい」導入による科目変更分918百万円が「その他」へ
	借入金	3,794	4,336	541	← 海外ビジネスの経費増加による一時的な運転資金増
	その他	2,281	2,926	644	
	流動負債 計	9,232	9,435	203	
	固定負債 計	561	460	-101	
負債の部	9,793	9,895	102		
純資産の部	4,637	3,277	-1,359	← 当期純損失の計上に伴う減少	
負債・純資産合計	14,431	13,173	-1,257		

(参考) キャッシュフロー

(単位: 百万円)		15/3末	16/3末
税引等調整前当期純利益		739	△1,272
売上債権の増減		△972	1,322 ← 売上債権の早期回収に伴う減少
たな卸資産の増減		△296	△253
仕入債務の増減		127	△17
その他		110	544 ← のれん減損分の戻し
営業活動によるキャッシュフロー		△292	324
有形資産の取得・売却		△223	△261
無形資産の取得・売却		△352	△251
投資有価証券の取得・売却		△5	△25
子会社株式の取得		△171	—
その他		29	△16
投資活動によるキャッシュフロー		△722	△555
短・長期借入金の増減		1,434	513 ← 海外ビジネスの経費増加による一時的な運転資金増
自己株式の取得・売却		21	36
配当金、その他		△149	△147
現金及び現金同等物に係る換算差額		7	△7
現金及び現金同等物の増減額		298	164
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		—	17
現金及び現金同等物の期首残高		313	612
〃 期末残高		612	793

# 今期17/3期の予想

【単位:百万円】	16/3期 実績	17/3期 見通し	前期比	
			増減額	率
売上高	16,203	18,000	+1,797	+11.1%
売上原価				
売上総利益				
販売管理費				
営業利益	-571	300	+871	+152.5%
経常利益	-649	300	+949	+146.2%
税引き前利益				
当期純利益	-1,378	50	+1,428	+103.6%
一株当たり利益	-125.25	4.53	+129.78	+103.6%
為替レート (US\$)	120.16	110.00	-10.16	-8.5%

## ◆ ポイント

- ・国内ビジネスは、輸送機器・産業機器ともに堅調
- ・海外ビジネスは、タイ・シンガポール・スウェーデンで業績改善の見通し。北米においては、現行プロジェクトの完納を前提に積極的な応札活動を進めるが、業績改善に対しては保守的な見通し
- ・減損や為替差損等の一時費用の剥落

新中期経営計画

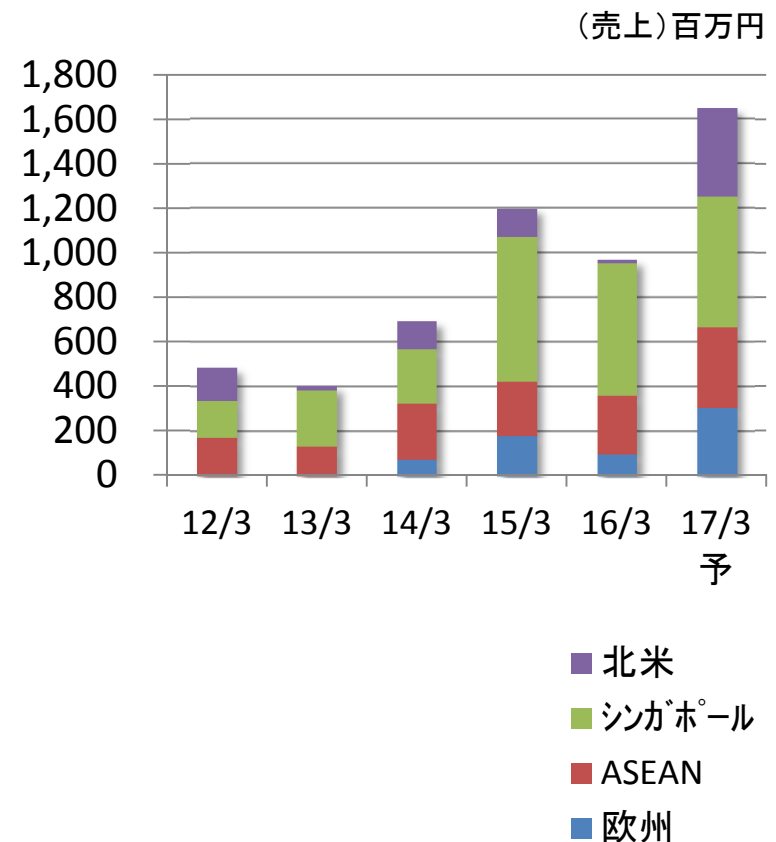
## 前中期3カ年計画の総括

	<u>13/3 期</u>		<u>16/3 期</u>	
売上高	134 億円	➔	162 億円	※15.3期は202億円
海外売上高	4.0 億円	➔	9.7 億円	
営業利益	4.8 億円	➔	△5.7 億円	※15.3期は6.0億円
海外子会社数 ※連結対象	1社	➔	4社	
グループ社員数	440名	➔	515名	
うち、海外向け人員	27名	➔	67名	

# 海外事業の状況

地域	セグメント	状況
北米	輸送機器	<p>【AFC】 受注案件の開発に遅れ。 16年3月までに開発・納入を完了し、 開発費負担の軽減図る。</p> <p>【鉄道向け照明機器】 NY通勤車両向け大型案件を受注。 2016年より2020年まで納入が続く。</p>
シンガポール	輸送機器	<p>【AFC】 運賃箱・発券機の市場シェア100% 定期的な代替受注。</p> <p>【TMS】 車載器の市場シェア100% 安定的な保守収益あり。</p>
ASEAN(タイ)	産業機器	<p>【(フォークリフト用)充電器】 日系メーカーを中心に、シェア拡大中</p>
欧州	輸送機器	<p>【AFC】 スウェーデン、オランダ、東欧向けに IC読み取り端末を安定的に提供 クレジットカード(EMV)対応等、ICカード の開発拠点としても機能</p>

## 中期3カ年で海外売上が急拡大



# TMS・運行管理システムの状況



**導入台数の増加**  
=> **保守売上等のストック収益の増加**

- ・2013年よりシステムの市場投入
- ・国内では、首都圏及び名古屋地区のバス事業者に掲載
- ・海外では、シンガポールの路線バス全数に掲載

## Bus location

GPSによる位置情報の把握

提供できるサービス

- 交通事業者 : 運行状況の把握
- 利用者 : ターミナル表示器やスマホへの遅延情報の提供

## Fleet management

車両管理、運行記録

提供できるサービス

- 交通事業者 : 急発進、急ブレーキ等の運行記録、燃費

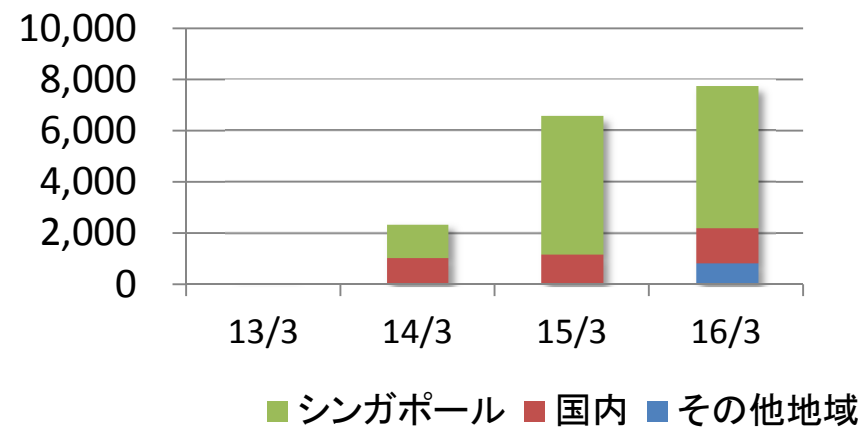
## Planning & Analytics

運行計画と経営分析

提供できるサービス

- 交通事業者 : データ分析、及びそこから得られる改善策

当社バスロケシステムの搭載車両数



# 新中期経営計画

## 期間

2016年4月～2021年3月までの5年間

## タイトル

Challenge Again 2020 (CA2020)  
～安定的な売上200億円に向けて、チャレンジ・アゲイン～

## 重点課題

1. イノベーションで業界をリードする新商品企画と拡販
2. アフターサービスの強化によるお客様満足度の向上
3. 海外におけるビジネス基盤の確立
4. 品質向上による顧客信頼の確保
5. プロジェクトの見える化によるQCDの向上

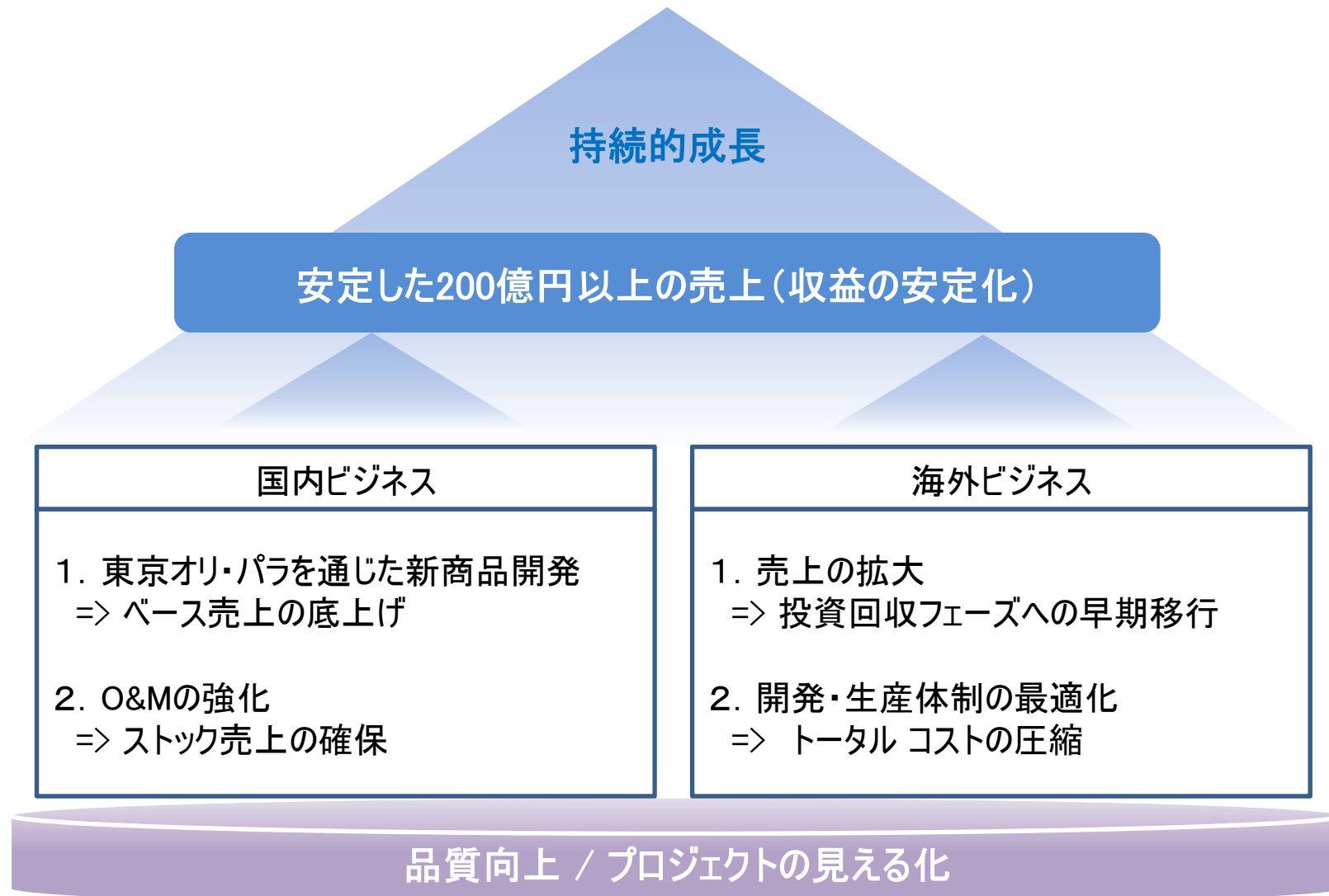
## 定量目標

売上高 200億円以上、営業利益 10億円以上を安定的に計上する

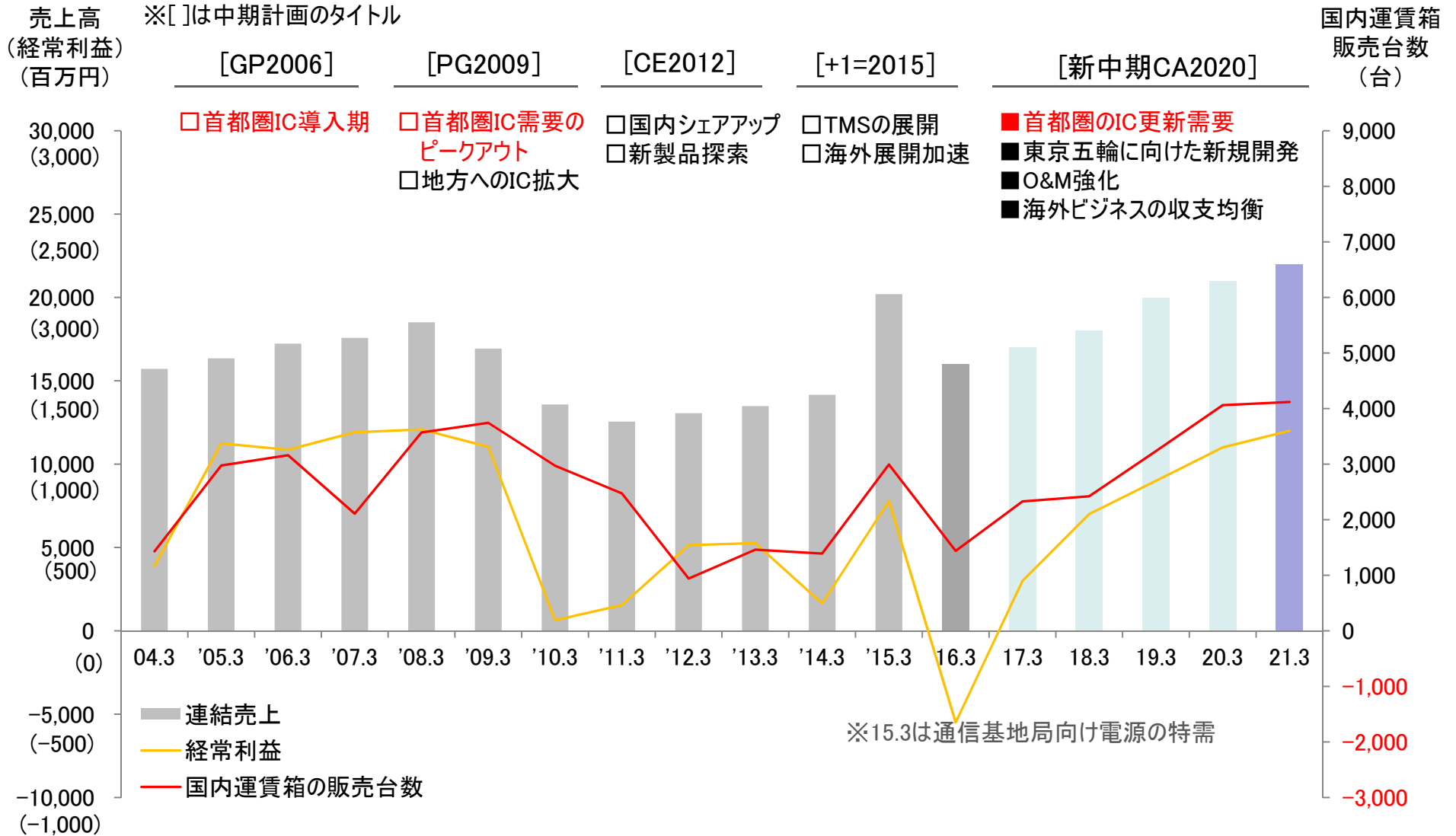




## CA2020の基本方針



# バス用運賃箱の販売台数と業績推移

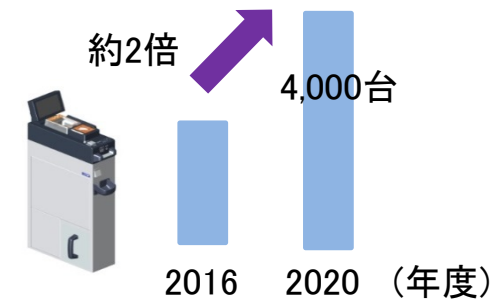


# 国内ビジネス まとめ

## 首都圏ICカードのリプレース

- 首都圏の運賃箱約15,000台が2020年度までに順次更新予定 (うち、当社は9,000台の受注を見込む)
- 運賃箱の性能改善、小型化
- プロジェクトごとの進捗を管理するシステムを導入

運賃箱の販売台数(全国)



## 東京オリ・パラに向けた新製品開発



気仙沼BRT

- 首都圏のBRT(バス高速輸送システム)運行に向けた新たなビジネスチャンス
- 次世代車載機器、バス停案内表示器の開発






## 観光・インバウンド対応



- 液晶表示器(OBC-VISION)の多言語化
- カラーLED式行先表示器の拡販
- 観光バス、高速バス向け新製品の企画

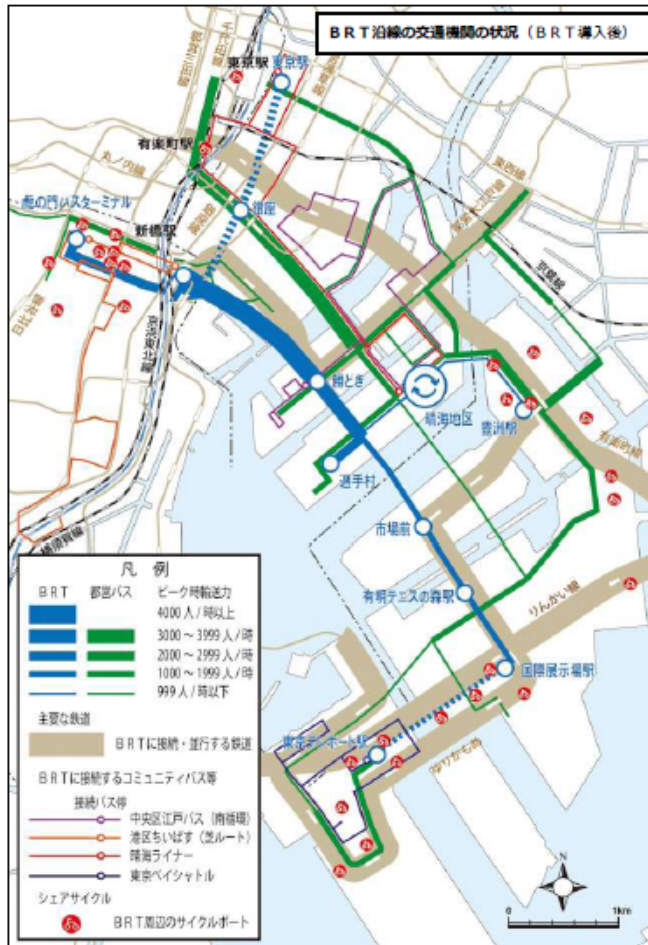
# 国内ビジネスの見通し

## ◆ 2020年度に向けて、各市場とも視界は良好

国内市場	見通し	要因
バス(輸送機器)		<p>①運賃箱及びICカードシステムについて、首都圏のICリプレースが18年前後よりスタート。併せて運賃箱の販売台数が現在の年2000台前後から4000台以上に。</p> <p>②車載用液晶表示器OBCが引き続き好調を維持。インバウンド対応のための4か国語表示やデジタルサイネージ需要増。</p> <p>③2015年に、カラーLED行先表示器を市場投入。今後、従来品のアンバー色からの置き換えが進む。</p>
鉄道-灯具(輸送機器)		国内の新車生産台数は、2016年以降は現在の約1500両から2000両前後に増加する見通し。国内向け海外向けともに増加。
自動車(輸送機器)		排ガス規制(ポストポスト新長期)が2017年にスタートするにあたり、一時的な反動減はあるが、中期スパンでは中・小型トラックは引き続き好調を維持する見通し。
無停電電源装置(産機)		<p>①通信基地局向け電源は補助金政策を背景に需要継続。</p> <p>②一方のケーブルテレビ向けは、光への置き換えにより需要減。</p>
フォークリフト用充電器(産機)		15年に市場再編はあったが、総需要は高位安定。バッテリー式FLの国内生産台数は、過去5年間で年平均4.0%の伸び。

# 東京オリンピック・パラリンピックに向けた新商品開発

## ◆ 東京オリンピック・パラリンピックに向け、新しい製品・サービスの市場導入



**2020年 東京オリンピック・パラリンピックに向けてBRTの導入が決定**

ルート案: 虎の門バスターミナル/東京駅～新橋～晴海地区～国際展示場  
 予定 : 2019年運行開始

✕ **都心と臨海副都心を結ぶBRTの導入が決定**

※BRT・・・バス専用レーンによる接続バスの運行

⇒ 未来志向の発想により、これまでにない運行管理、サイネージ、運賃収受システムを検討中

✕ **日本各地で、国交省の補助金を活用した接続バス・バスロケ・PTPS(公共車両優先システム)の導入が拡大**

⇒ 東京のBRTの事例がデファクトスタンダードとなり、新たな需要の掘り起しに繋がる可能性に期待

# 観光・インバウンド対応

## ◆ 首都圏や観光地を中心に、バスターミナル表示器や車載式液晶表示器の需要増

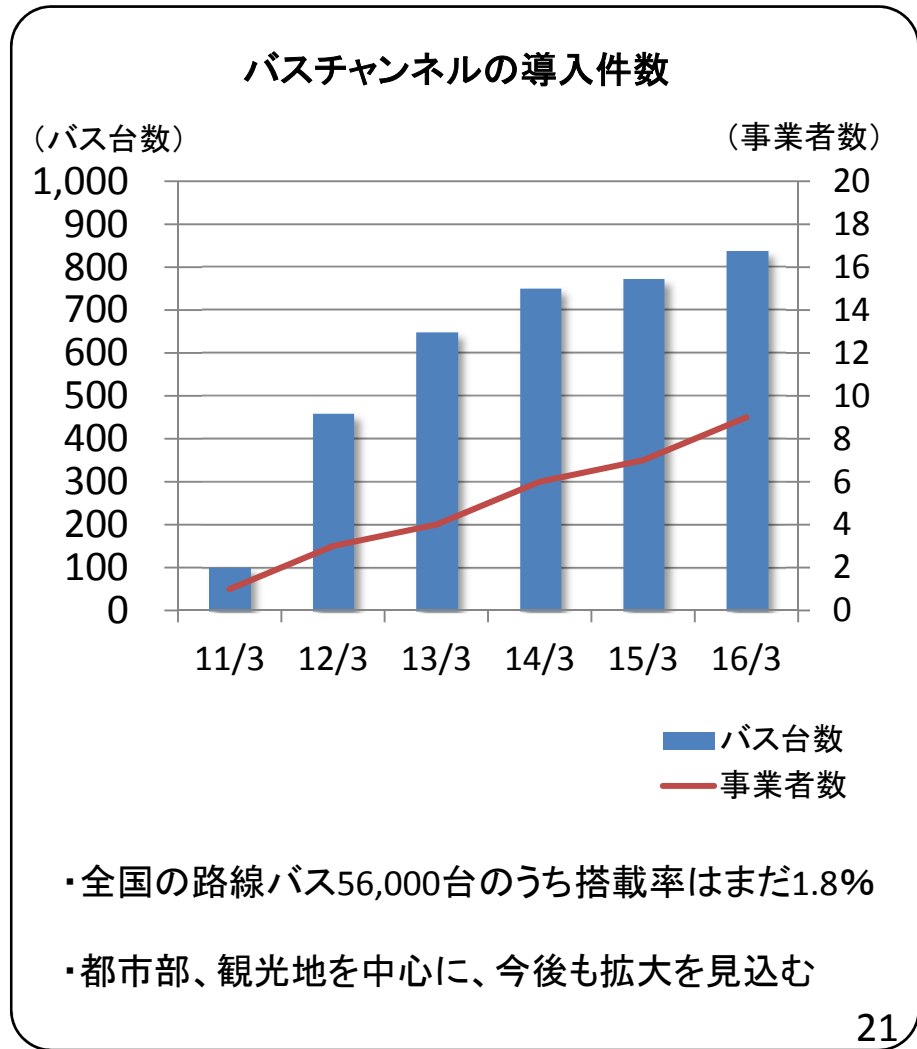
- ✕ 外国人向けに4か国語表示の要望増加
- ✕ バス車内におけるデジタルサイネージ「バスチャンネル」の導入拡大



4ヶ国語表示  
導入事例



バスチャンネル導入事例



# 海外ビジネス まとめ



SWEDEN  
LECIP ARCONTIA AB

クレジットカード含む非接触カード決済端末の開発と拡販

バス用運賃收受システム、鉄道向け灯具の実績作りと拡販

USA  
LECIP INC.

中期目標：海外売上40億円 収支均衡

- ① ASEAN地区での灯具・充電器の拡販
- ② ASEAN地区からの調達量拡大

レシップエスエルビー株式会社  
レシップ電子株式会社  
レシップエンジニアリング株式会社  
岐阜DS管理株式会社  
レシップ産業株式会社

THAILAND  
LECIP THAI CO. LTD.

SINGAPORE  
LECIP (SINGAPORE) PTE LTD



運行管理システム、料金箱の定期保守対応



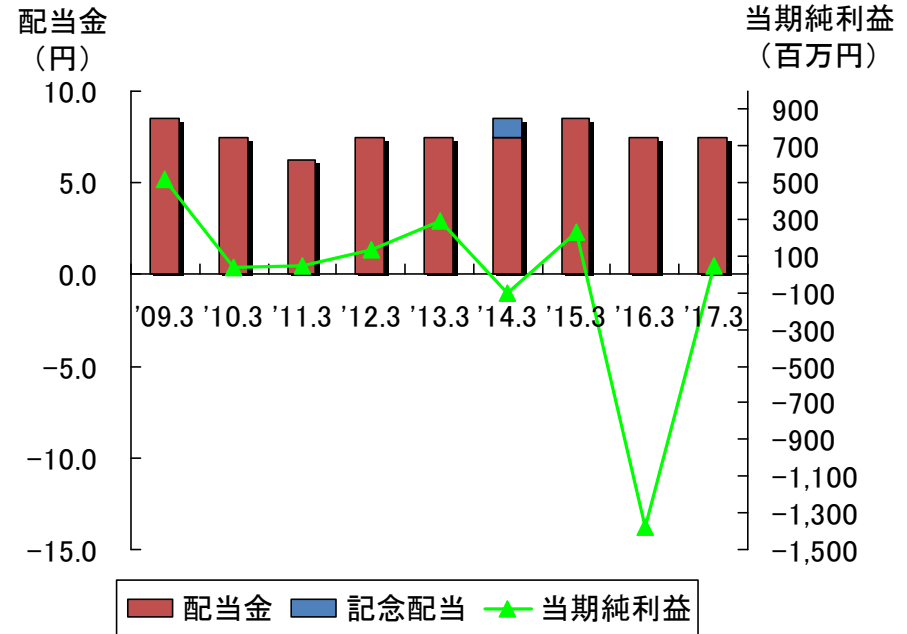
株主施策



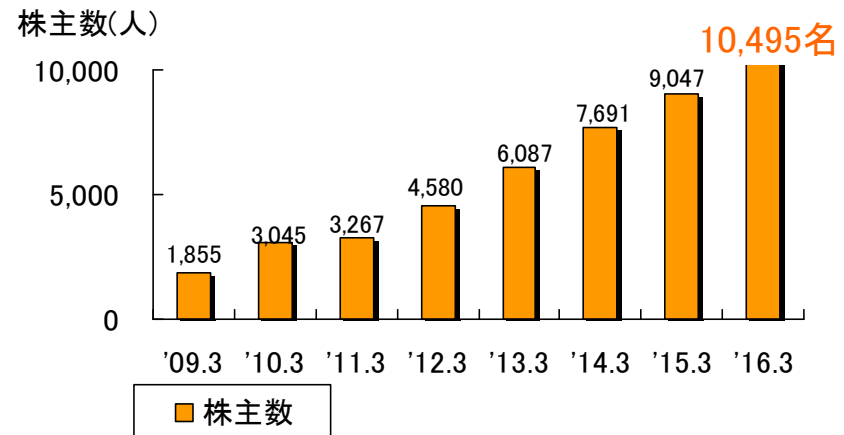
# 配当

## 配当の状況

- 15.3期 普通配当 8.5 円
- 16.3期 普通配当 7.5 円
- 17.3期 普通配当 7.5 円(予定)



優待: 地元岐阜県産の富有柿(2000円相当)



会社概要説明

# 会社概要 (1/6)

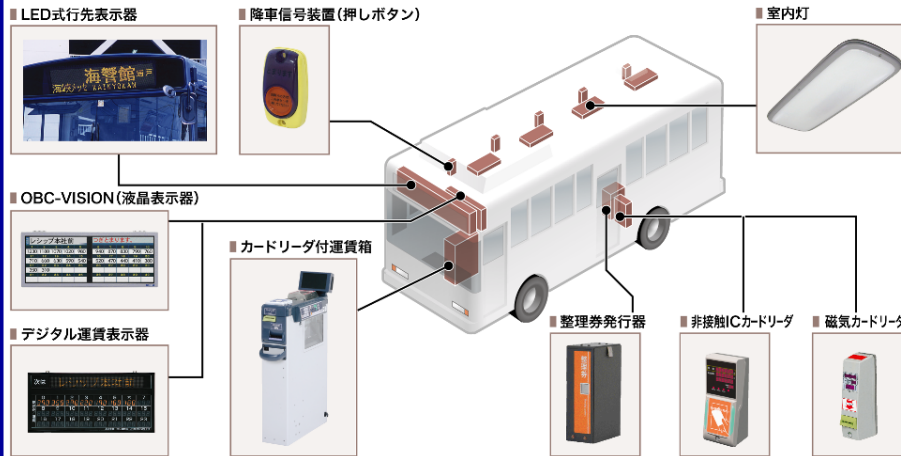


会社名	: レシップホールディングス株式会社 (LECIP HOLDINGS CORPORATION)
設立	: 1953年3月
代表者	: 代表取締役社長 杉本 眞
本社所在地	: 岐阜県本巣市上保1260番地の2
資本金	: 7億3,564万円
発行済株式総数	: 12,798,200株
上場証券取引所	: 東証1部、名証1部 (証券コード: 7213)
連結子会社	: 8社 (国内4社、海外4社)
連結従業員数	: 515名 ((国内487名、海外28名)

# 会社概要 (2/6)

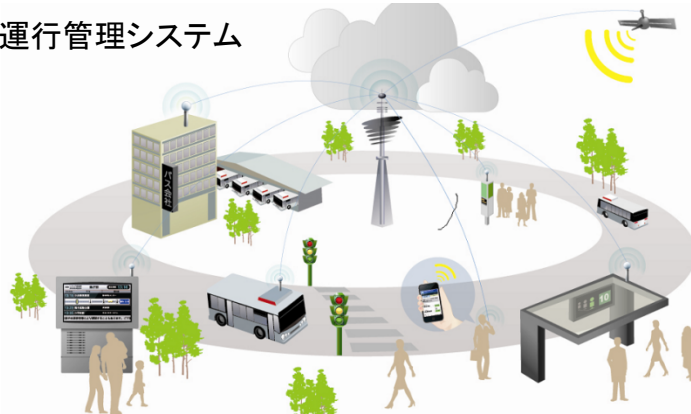
## == 輸送機器事業 ==

### バス市場向け製品



- 国内唯一の、「バス用電装機器トータルサプライヤー」
- 多くの製品で国内トップシェアを獲得

### TMS・運行管理システム



### 鉄道市場向け製品

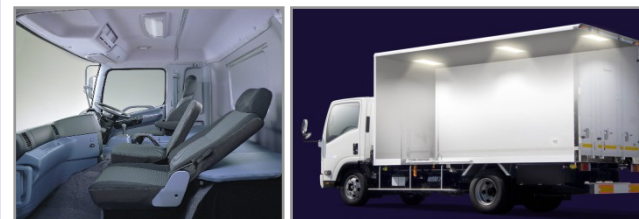


ワンマン鉄道用運賃箱

車両用照明灯具

- ワンマン鉄道用機器と、車両用照明灯具を展開
- 鉄道用ワンマン機器は、国内90%以上のシェアを獲得

### 自動車市場向け製品



自動車用照明灯具(車内・荷室内照明用)

- 自動車用蛍光灯具のパイオニア、国内トップシェアを獲得
- LED灯具の拡販推進

# 会社概要 (3/6)

## == 産業機器事業 ==

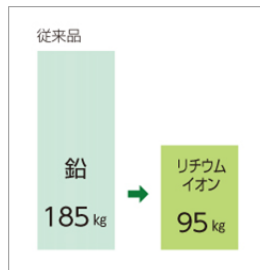
### 電源ソリューション



フォークリフト用充電器



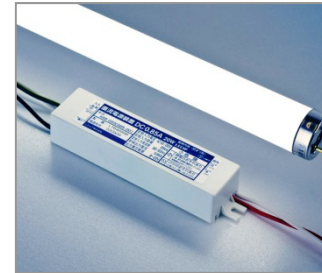
基地局向け耐雷トランス



リチウムイオン搭載の無停電電源装置

- フォークリフト用充電器で国内トップシェアを獲得
- 屋外用無停電電源装置(UPS)を多用途展開

### エコ照明&高電圧



LED電源と直管型LED灯具



ネオン変圧器

### EMS



プリント基板実装ライン

レシップ電子株式会社にて、  
プリント基板の実装ラインを  
10ライン保有

## 会社概要 (4/6)

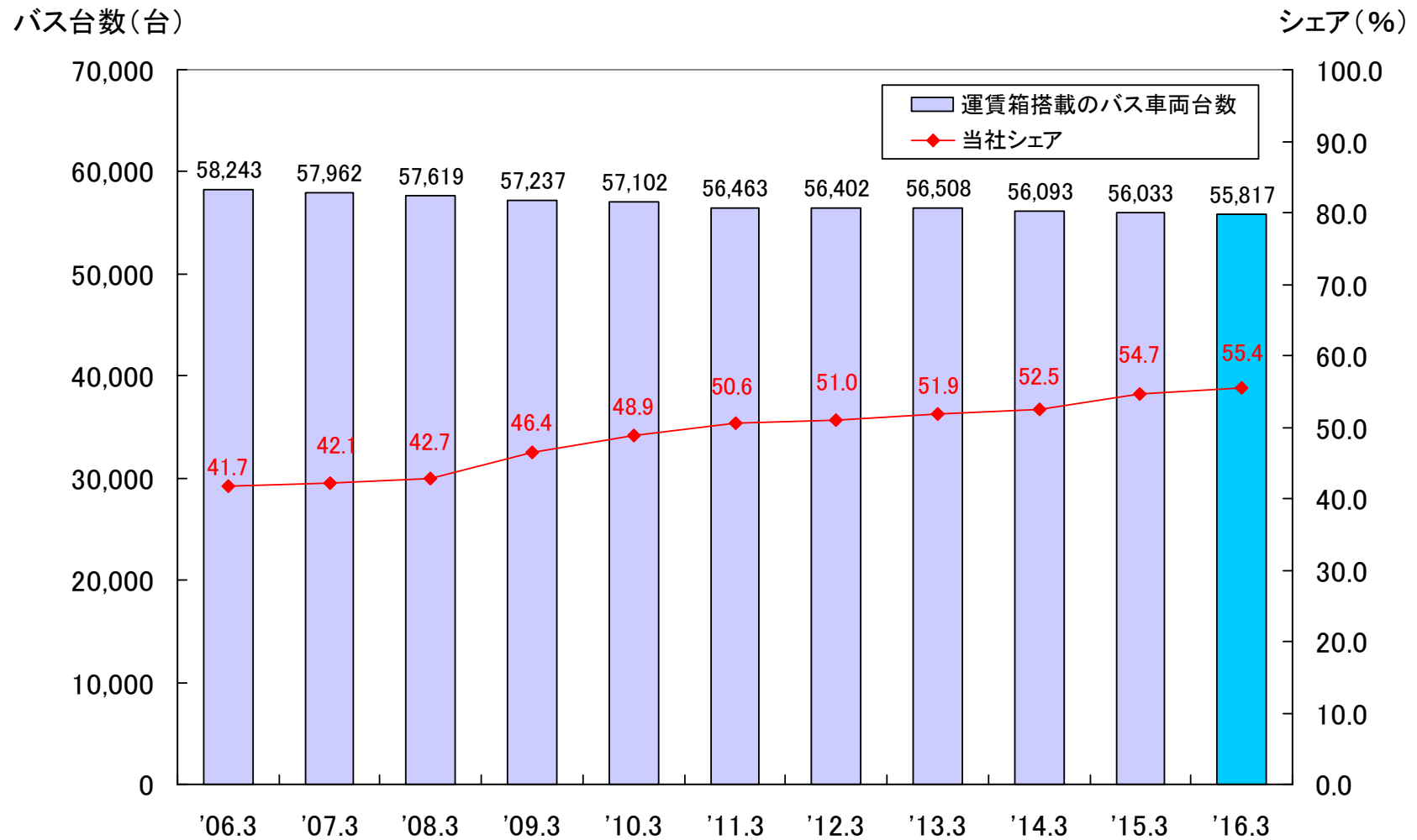
「ニッチ・トップ」の方針で、多くのトップシェア製品を保有

(単位: %)

			12年3月期 期末	13年3月期 期末	14年3月期 期末	15年3月期 期末	16年3月期 期末
輸送機器	バス	(バス用)運賃箱	51.0%	51.9%	52.5%	54.7%	55.4%
		ICカードシステム	56.2%	57.4%	58.3%	60.3%	59.9%
		液晶表示器	74.1%	73.1%	69.4%	72.4%	74.4%
		LED行先表示器(カラー・アンバー)	41.6%	41.4%	40.9%	41.7%	41.8%
	鉄道	(鉄道用)運賃箱	91.0%	91.2%	91.2%	91.2%	90.4%
		(鉄道用)車両用蛍光灯具	34.8%	29.1%	19.4%	16.4%	15.3%
	自動車	トラック用蛍光灯具	84.8%	85.0%	84.8%	85.5%	85.4%
産業機器	巻線式ネオン変圧器		79.1%	90.1%	95.3%	98.2%	94.3%
	バッテリー式フォークリフト用充電器		56.3%	57.4%	56.3%	57.9%	57.6%

\* 当社調べ

# 会社概要 (5/6)



## 会社概要 (6/6)

	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期 予想
売上高	18,511	16,933	13,585	12,551	13,059	13,480	14,157	20,215	16,203	18,000
営業利益	1,232	1,070	29	121	493	477	151	603	-571	300
営業利益率 (%)	(6.7)	(6.3)	(0.2)	(1.0)	(3.8)	(3.5)	(1.1)	(3.0)	(-3.5)	(1.7)
経常利益	1,208	1,104	64	154	514	526	164	779	-649	300
経常利益率 (%)	(6.5)	(6.5)	(0.5)	(1.2)	(3.9)	(3.9)	(1.2)	(3.9)	(-4.0)	(1.7)
当期純利益	686	521	41	46	132	292	-98	227	-1,378	50
当期純利益率 (%)	(3.7)	(3.1)	(0.3)	(0.4)	(1.0)	(2.2)	(-0.7)	(1.1)	(-8.5)	(0.3)
総資産	11,470	10,417	10,521	9,698	10,347	9,791	12,677	14,431	13,173	—
純資産	4,995	5,339	5,289	5,275	5,308	4,755	4,614	4,637	3,277	—
自己資本比率 (%)	43.5	51.2	50.3	54.4	51.3	48.6	36.4	32.1	24.9	—
EPS(円)※	107.38	81.61	6.55	7.34	20.80	46.85	-9.05	20.76	-125.25	4.53
ROE (%)	14.6	10.1	0.8	0.9	2.5	5.8	-2.10	4.9	-34.8	—
BPS(円)※	781.66	835.49	827.65	825.60	830.76	877.37	422.21	422.30	297.03	—



# LECIP GROUP

## 【資料お問合せ先】

レシップホールディングス株式会社

経営企画室

電話番号 : (058)323-7647

(将来予測について)

本資料のうち業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。